



# ハラスメント行為者研修

## ハラスメント行為を行った従業員向けのプログラム

ハラスメントの被害者の多くが望むことは「行為者（加害者）が自らの行為を認め、謝罪してほしい」「これまで通りに働きたい」といったことです。実際に起こった問題の根本的な解決や、再発防止に向けて重要なことは、行為者自身が問題を振り返り「自分がやったこと」として主観的に受けとめる機会を提供し、当事者意識を持つことです。

当社が電話相談事業や研修事業で培ったノウハウを活かし、問題の解決に向けてサポート致します。

### 研修概要

**受講対象者**…ハラスメント行為（セクハラ・パワハラ・マタハラ等）により何らかの処分を受けた従業員

**研修目的**……①自分自身の行為を振り返り、自分の性格・行動傾向の認知

②ハラスメントに関する正しい理解、意識を高める。

③「今後同様の行為を繰り返さないために」を考える。

**研修内容**……連続2日間（各日180分×2日間）の研修、および1か月後を目処としたフォロー面談

**受講形式**……個人カウンセリング形式

**研修場所**……当社カウンセリングルーム

**報告書**……研修終了後に1回、フォロー面談終了後に1回、計2回提出。

**研修講師**……心理相談の専門家（臨床心理士、精神保健福祉士、産業カウンセラー）

### 導入事例

化学メーカー、製薬会社、不動産、金融、大学、など多数実施

※実際、相談・通報電話を受けている現役相談員



# ハラスメント行為者研修

## 研修プログラム例

日 程	項 目	内 容
研修1週間前まで	講師による事前聴き取り	講師より行為者へ電話連絡し、ハラスメントに至る大まかな経緯を伺います。 伺った内容に基づき、研修目標、研修内容を決定します。
第1日目	ハラスメント行為の振り返り	行為者自身に語っていただきながら、ハラスメントに至った要因への気づきが促進されるよう、状況、感情、思考等を整理していきます。
	チェックテスト記入	ご自身の現時点での行動、思考、感情の傾向を客観視するためのチェックテストを実施します。
	振り返り	研修で学んだこと、感想などを振り返りシートにまとめていただきます。
	ハラスメントとは何か	ハラスメントの裁判事例など、具体的な事例を提示しながら、ハラスメントの定義、類型、原因、影響などを理解していただきます。
第2日目	より良いコミュニケーションを築くための方法を考える	今後自分が組織の中でどのように考え行動していくべきかを、カウンセラーとともに見つけ出します。 行為者の必要に応じて各種スキル（「怒りのコントロール方法」「アサーション」「傾聴のスキル」「ストレス・コーピング」などから選択）を学んでいただきます。
	目標の決定	今後の目標を決めていただきます。
	振り返り	研修で学んだこと、感想、目標などを振り返りシートにまとめていただきます。
1～2か月後	フォロー面談	研修実施後1～2か月後を目途に、講師がフォロー面談を実施し、目標の達成度や研修後の対象者の行動を確認します。 ※行為者の状況によっては電話で実施することもあります。 ※追加でフォロー面談を実施する場合は別途費用がかかります。

### オプションメニュー

#### フォロー面談の追加

「十分な行動変容が見られない」「行為者の環境が変化し新たな問題が生じている」「行為者が、行動の変化を維持できるか不安を感じている」等の場合には、ご希望に応じ、フォロー面談を継続します。

※行為者の状況によっては電話で実施することもできます。

#### 行為者の周囲の方（同僚や上司）への支援

ハラスメントが起こらない、起こさせない環境作りを目指した、行為者の周囲の方向け研修を行います。（ハラスメント研修、コミュニケーション研修など）

料金例 お一人様あたり

¥ 350,000 (税抜)

※東京、千葉、埼玉、神奈川までの交通費は含みます。

